

マップ2021

 広野町

防災マップ

① ため池



災害から身を守るために
「自助」「共助」「公助」





町民の皆様へ

令和3年6月 広野町長 遠藤 智

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故から10年が経過し、これまで様々な困難、ご苦労があり、これらを乗り越えここまで至ったことに対し心より感謝申し上げます。

町は東日本大震災による壊滅的な被害を受け、その経験を活かし災害に強い町づくりを目指し防災行政無線のデジタル化や津波災害時に「広野みらいオフィス」を一時避難場所とする民間企業との協定など様々な施策を講じてきました。

地域防災の基本は「自助」「共助」「公助」であり町民の皆様の主體的な行動が重要です。日ごろから防災の重要性を認識し、町民一人ひとりが防災意識を持つことが大切であり、災害がいつ起きても対処できるように対策を考えておく必要があります。昨年、配布致しました「広野町防災マップ」は災害から皆様を守るために多くの防災情報を分かりやすく掲載した総合的な

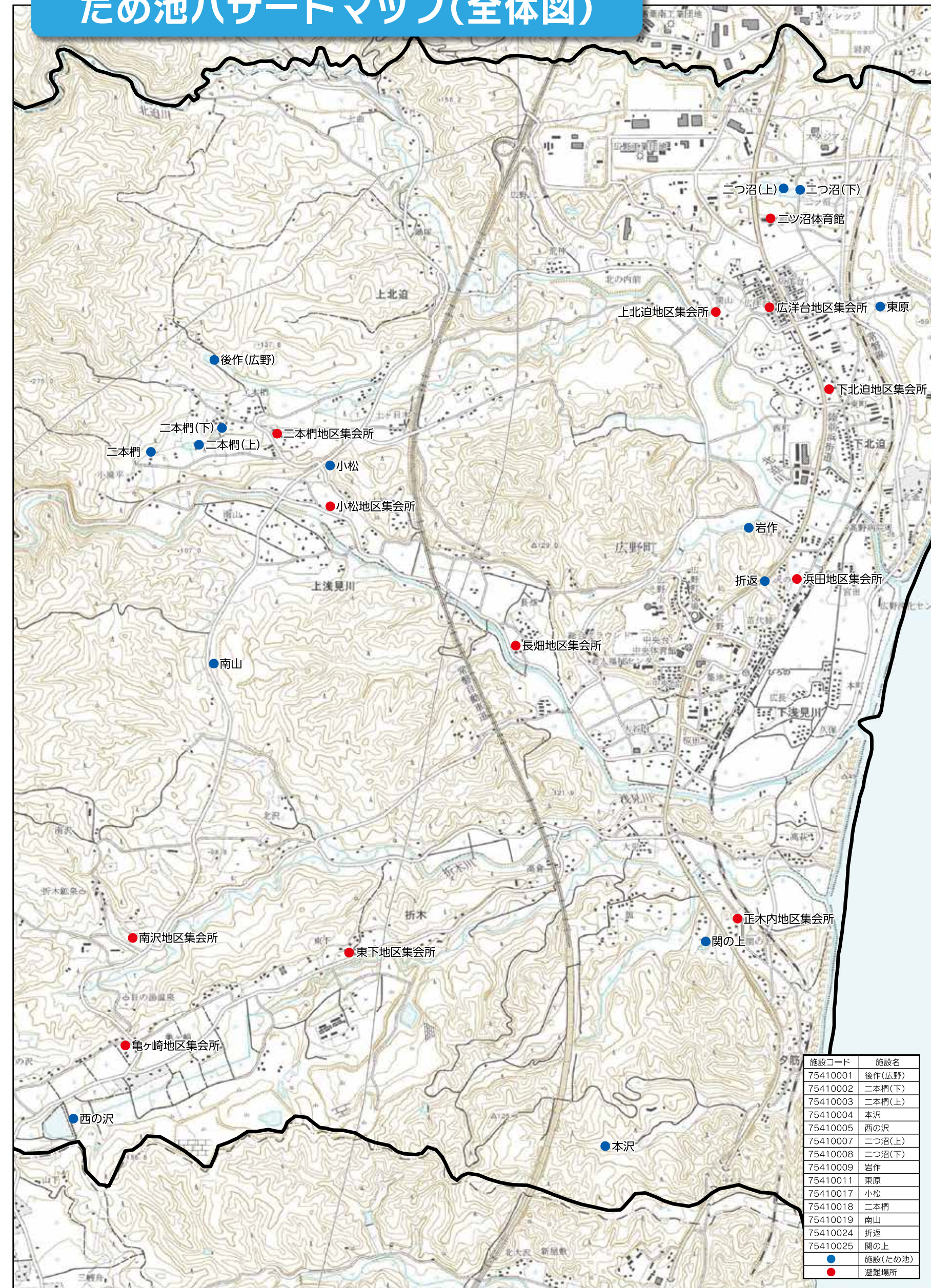
防災マップとなっております。今回配布する「ため池ハザードマップ」は福島県が浸水区域・貯水量・町の意見をもとに、町内にあるため池40箇所のうち、防災重点農業用ため池として指定した14箇所について局地的な大雨や大規模な地震により万が一決壊した場合の備えとして浸水の深さやいざという時の心構え、避難場所を地図上で整理したものです。浸水の特徴を理解して家族や地域住民と話し合いハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。

今後作成予定の河川のハザードマップについても皆様を守るための防災情報が分かりやすく掲載されますので家庭や地域において災害に対する備えとして町民の皆様の防災・減災の行動規範の手順書として「広野町防災マップ」と一緒に合わせて活用して頂きたいと存じます。

【防災重点農業用ため池一覧表】

NO	施設コード	施設名(ため池名)	場 所	堤高(m)	貯水量(千m ³)	指定避難所
1	75410001	後作(広野)	広野町大字上北迫地内	6.4	2.0	二本柵地区集会所
2	75410002	二本柵(下)	広野町大字上北迫地内	3.8	0.5	二本柵地区集会所
3	75410003	二本柵(上)	広野町大字上北迫地内	2.8	3.0	二本柵地区集会所
4	75410004	本沢	広野町大字夕筋地内	4.9	0.3	正木内地区集会所
5	75410005	西の沢	広野町大字折木地内	7.3	60.0	南沢地区集会所 亀ヶ崎地区集会所 東下地区集会所
6	75410007	二つ沼(上)	広野町大字下北迫地内	2.9	5.0	二つ沼体育館
7	75410008	二つ沼(下)	広野町大字下北迫地内	4.0	6.5	二つ沼体育館
8	75410009	岩作	広野町大字下北迫地内	3.3	1.5	浜田地区集会所
9	75410011	東原	広野町大字下北迫地内	2.6	1.0	下北迫地区集会所
10	75410017	小松	広野町大字上浅見川地内	6.3	2.3	二本柵地区集会所 長畑地区集会所
11	75410018	二本柵	広野町大字上北迫地内	3.4	2.0	二本柵地区集会所 小松地区集会所
12	75410019	南山	広野町大字上浅見川地内	1.2	1.0	小松地区集会所
13	75410024	折返	広野町大字上北迫地内	2.1	1.0	浜田地区集会所
14	75410025	関の上	広野町大字折木地内	4.0	1.0	正木内地区集会所

ため池ハザードマップ(全体図)



1 後作(広野)ハザードマップ

0 50 100 150 200 m 縮尺 1:3,000



！いざというときは

- ・避難は可能な限り動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- ・必ず徒歩で！足下に注意して避難
- ・速やかに高台へ
- ・建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難

後作(広野)ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。

浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。

よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合みましょう。

凡例	
最大水深	
3.0m以上	赤
2.0m～3.0m	オレンジ
1.5m～2.0m	黄
1.0m～1.5m	緑
0.5m～1.0m	青
0.0m～0.5m	水色

避難行動ガイド

ハザードマップ作成の目的

後作(広野)ハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために最悪の状況を想定した浸水予測を行いました。住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的としています。

ハザードマップの作成条件

現在起こりうる最大の危機を想定しました。後作(広野)が満水の状態で、貯水量の全量2.0千トンが下流域に流れ出す場合を想定しました。



そうってからでは遅い！早めの避難

浸水が始まってから行動したのでは、手遅れになる場合があります。あらかじめ、このハザードマップで水がせまりくる状況を学び、万が一の事態が発生した場合の早めの判断、速やかな行動につなげてください。

地震のあとの災害シナリオ						
時間	発生前	数秒～1分	1～3分後	5～10分後	約30分後～50分後	到着くまで
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報 (数秒前)	発生	地震速報 防災無線		被害の情報収集	
被害		後作地内に水が到達				
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る。揺れがおさまったら、安全なところへ避難	安全な場所へ避難	避難所などで待機し町の指示を待つ	

ハザードマップに載せる情報

①場所ごとの浸水する深さ

場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。

②到達時間

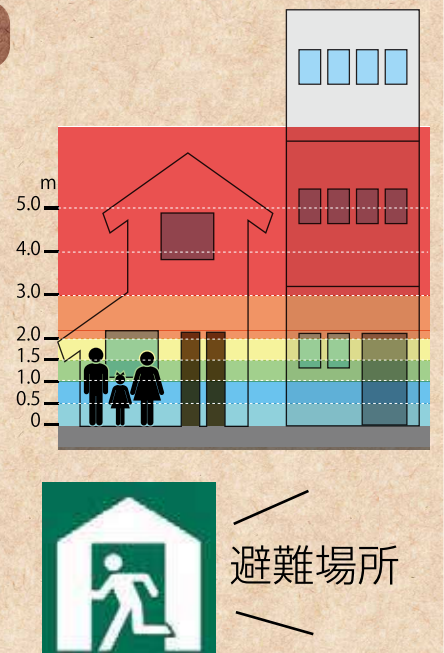
ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。

③避難場所

避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、指定された避難場所によらず、近くの高台へ避難してください。

④いざというときの心構え

いざというときの避難に備えて、日常から心がけておく事柄を記載しました。



地図を見るうえでのポイント

- ・地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう(浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。)
- ・災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- ・地図上にある災害シナリオを参考に、災害の発生から避難完了までを考えてみましょう。
- ・地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所(地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ)や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。

緊急
連絡先

広野町役場

TEL.0240-27-2111

双葉警察署

TEL.0240-22-2121

双葉地方広域市町村圏組合消防本部

TEL.0240-25-8523

双葉警察署広野駐在所

TEL.0240-27-3225

2 二本柵(下)ハザードマップ

0 50 100 150 200 m 縮尺 1:2,500

二本柵(下)ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。

浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。

よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。



！いざというときは

- 避難は可能な限り動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- 必ず徒歩で！足下に注意して避難
- 速やかに高台へ
- 建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難

避難行動ガイド

ハザードマップ作成の目的

二本柵(下)ハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために最悪の状況を想定した浸水予測を行いました。住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的としています。

ハザードマップの作成条件

現在起こりうる最大の危機を想定しました。二本柵(下)が満水の状態で、貯水量の全量0.5千トンが下流域に流れ出す場合を想定しました。



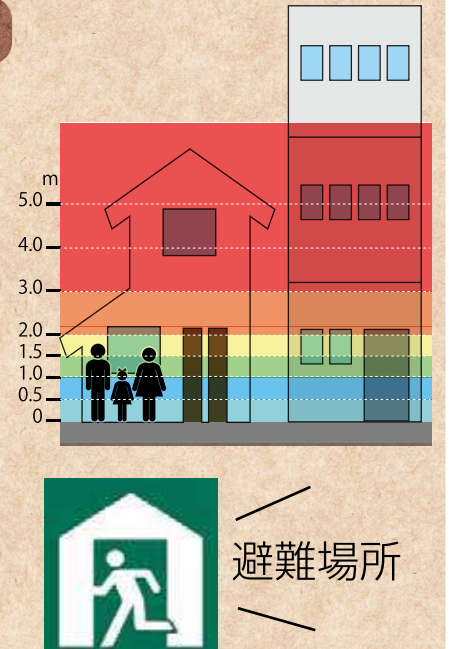
そうってからでは遅い！早めの避難

浸水が始まってから行動したのでは、手遅れになる場合があります。あらかじめ、このハザードマップで水がせまりくる状況を学び、万が一の事態が発生した場合の早めの判断、速やかな行動につなげてください。

地震のあとの災害シナリオ						
時間	発生前	数秒~1分	1~3分後	5~10分後	約30分後~50分後	到着くまで
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報 (数秒前)	発生	地震速報 防災無線		被害の情報収集	
被害		二本柵地内に水が到達				
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る。揺れがおさまったら、安全なところへ避難	安全な場所へ避難	避難所などで待機し町の指示を待つ	

ハザードマップに載せる情報

- 場所ごとの浸水する深さ**
場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。
- 到達時間**
ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。
- 避難場所**
避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、指定された避難場所によらず、近くの高台へ避難してください。
- いざというときの心構え**
いざというときの避難に備えて、日常から心がけておく事柄を記載しました。



地図を見るうえでのポイント

- 地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう(浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。)
- 災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- 地図上にある災害シナリオを参考に、災害の発生から避難完了までを考えてみましょう。
- 地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所(地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ)や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。

緊急連絡先

広野町役場

TEL.0240-27-2111

双葉警察署

TEL.0240-22-2121

双葉地方広域市町村圏組合消防本部

TEL.0240-25-8523

双葉警察署広野駐在所

TEL.0240-27-3225

3 二本柵(上)ハザードマップ

0 50 100 150 200 m 縮尺 1:3,000

！いざというときは

- ・避難は可能な限り動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- ・必ず徒歩で！足下に注意して避難
- ・速やかに高台へ
- ・建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難

二本柵(上)ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。

浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。

よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。



凡例	
最大水深	
3.0m以上	赤
2.0m～3.0m	オレンジ
1.5m～2.0m	黄
1.0m～1.5m	緑
0.5m～1.0m	水色
0.0m～0.5m	青

避難行動ガイド

ハザードマップ作成の目的

二本柵(上)ハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために最悪の状況を想定した浸水予測を行いました。住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的としています。

ハザードマップの作成条件

現在起こりうる最大の危機を想定しました。二本柵(上)が満水の状態で、貯水量の全量3.0千トンが下流域に流れ出す場合を想定しました。



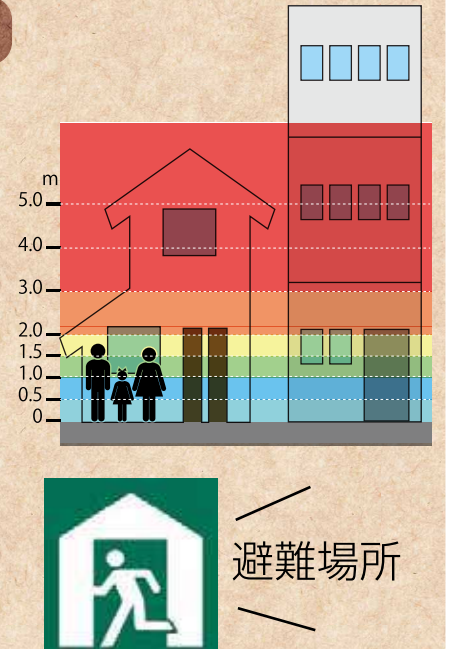
そうってからでは遅い！早めの避難

浸水が始まってから行動したのでは、手遅れになる場合があります。あらかじめ、このハザードマップで水がせまりくる状況を学び、万が一の事態が発生した場合の早めの判断、速やかな行動につなげてください。

地震のあとの災害シナリオ						
時間	発生前	数秒～1分	1～3分後	5～10分後	約30分後～50分後	到着くまで
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報 (数秒前)	発生	地震速報 防災無線		被害の情報収集	
被害		二本柵地内に水が到達				
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る。揺れがおさまったら、安全なところへ避難	安全な場所へ避難	避難所などで待機し町の指示を待つ	

ハザードマップに載せる情報

- ①場所ごとの浸水する深さ**
場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。
- ②到達時間**
ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。
- ③避難場所**
避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、指定された避難場所によらず、近くの高台へ避難してください。
- ④いざというときの心構え**
いざというときの避難に備えて、日常から心がけておく事柄を記載しました。



地図を見るうえでのポイント

- ・地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう(浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。)
- ・災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- ・地図上にある災害シナリオを参考に、災害の発生から避難完了までを考えてみましょう。
- ・地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所(地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ)や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。

緊急
連絡先

広野町役場

TEL.0240-27-2111

双葉警察署

TEL.0240-22-2121

双葉地方広域市町村圏組合消防本部

TEL.0240-25-8523

双葉警察署広野駐在所

TEL.0240-27-3225

4 本沢ハザードマップ

0 50 100 150 200 250 300 350 400 450 m 縮尺 1:5,500



本沢ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。

浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。

よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。

- ！いざというときは**
- ・避難は可能な限り動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
 - ・必ず徒歩で！足下に注意して避難
 - ・速やかに高台へ
 - ・建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難

凡例	
最大水深	
3.0m以上	3.0m以上
2.0m~3.0m	2.0m~3.0m
1.5m~2.0m	1.5m~2.0m
1.0m~1.5m	1.0m~1.5m
0.5m~1.0m	0.5m~1.0m
0.0m~0.5m	0.0m~0.5m

避難行動ガイド

ハザードマップ作成の目的

本沢ハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために最悪の状況を想定した浸水予測を行いました。住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的としています。

ハザードマップの作成条件

現在起こりうる最大の危機を想定しました。本沢が満水の状態で、貯水量の**全量0.3千トン**が下流域に流れ出す場合を想定しました。



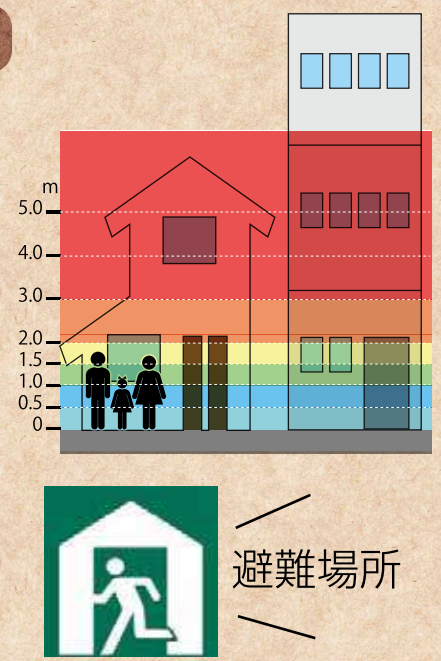
そうってからでは遅い！早めの避難

浸水が始まってから行動したのでは、手遅れになる場合があります。あらかじめ、このハザードマップで水がせまりくる状況を学び、万が一の事態が発生した場合の早めの判断、速やかな行動につなげてください。

地震のあとの災害シナリオ						
時間	発生前	数秒~1分	1~3分後	5~10分後	約30分後~50分後	到着くまで
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報 (数秒前)	発生	地震速報 防災無線		被害の情報収集	
被害		本沢地内に水が到達				
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る。揺れがおさまったら、安全なところへ避難	安全な場所へ避難	避難所などで待機し町の指示を待つ	

ハザードマップに載せる情報

- ①場所ごとの浸水する深さ**
場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。
- ②到達時間**
ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。
- ③避難場所**
避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、指定された避難場所によらず、近くの高台へ避難してください。
- ④いざというときの心構え**
いざというときの避難に備えて、日常から心がけておく事柄を記載しました。



地図を見るうえでのポイント

- ・地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう(浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。)
- ・災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- ・地図上にある災害シナリオを参考に、災害の発生から避難完了までを考えてみましょう。
- ・地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所(地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ)や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。

緊急連絡先

広野町役場

TEL.0240-27-2111

双葉警察署

TEL.0240-22-2121

双葉地方広域市町村圏組合消防本部

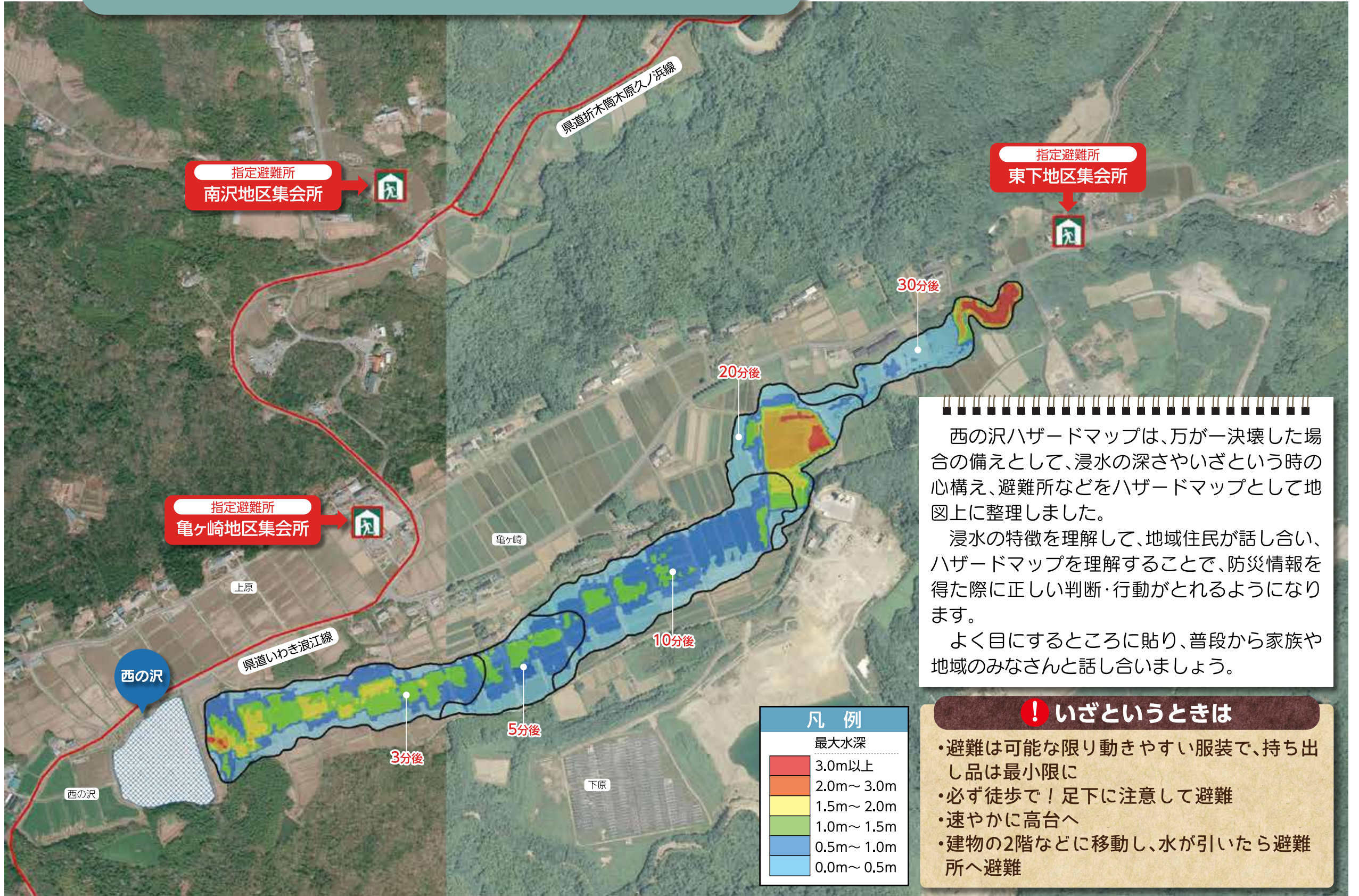
TEL.0240-25-8523

双葉警察署広野駐在所

TEL.0240-27-3225

5 西の沢ハザードマップ

0 100 200 300 400 m 縮尺 1:6,000



西の沢ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。
 浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。
 よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。

！ いざというときは

- ・避難は可能な限り動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- ・必ず徒歩で！ 足下に注意して避難
- ・速やかに高台へ
- ・建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難

避難行動ガイド

ハザードマップ作成の目的

西の沢ハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために最悪の状況を想定した浸水予測を行いました。住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的にしています。

ハザードマップの作成条件

現在起こりうる最大の危機を想定しました。西の沢が満水の状態で、貯水量の全量6.0万トンが下流域に流れ出す場合を想定しました。



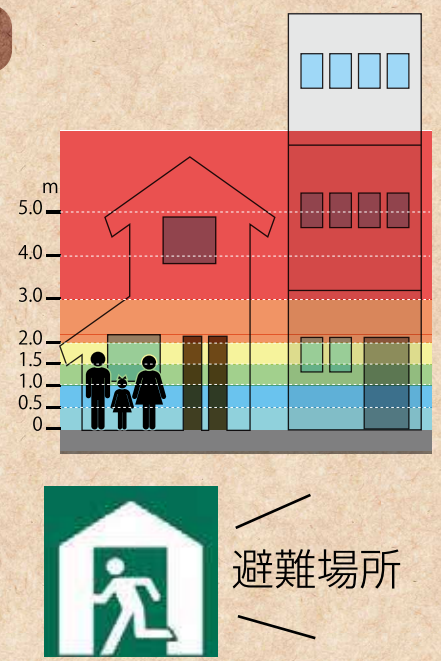
そうってからでは遅い！ 早めの避難

浸水が始まってから行動したのでは、手遅れになる場合があります。あらかじめ、このハザードマップで水がせまりくる状況を学び、万が一の事態が発生した場合の早めの判断、速やかな行動につなげてください。

地震のあとの災害シナリオ						
時間	発生前	数秒～1分	1～3分後	5～10分後	約30分後～50分後	到着くまで
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報 (数秒前)	発生	地震速報 防災無線		被害の情報収集	
被害			下原地内に水が到達			
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る。揺れがおさまったら、安全なところへ避難	安全な場所へ避難	避難所などで待機し町の指示を待つ	

ハザードマップに載せる情報

- ①場所ごとの浸水する深さ**
場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。
- ②到達時間**
ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。
- ③避難場所**
避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、指定された避難場所によらず、近くの高台へ避難してください。
- ④いざというときの心構え**
いざというときの避難に備えて、日常から心がけておく事柄を記載しました。



地図を見るうえでのポイント

- ・地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう(浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。)
- ・災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- ・地図上にある災害シナリオを参考に、災害の発生から避難完了までを考えてみましょう。
- ・地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所(地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ)や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。

緊急連絡先	広野町役場	TEL.0240-27-2111	双葉警察署	TEL.0240-22-2121
	双葉地方広域市町村圏組合消防本部	TEL.0240-25-8523	双葉警察署広野駐在所	TEL.0240-27-3225

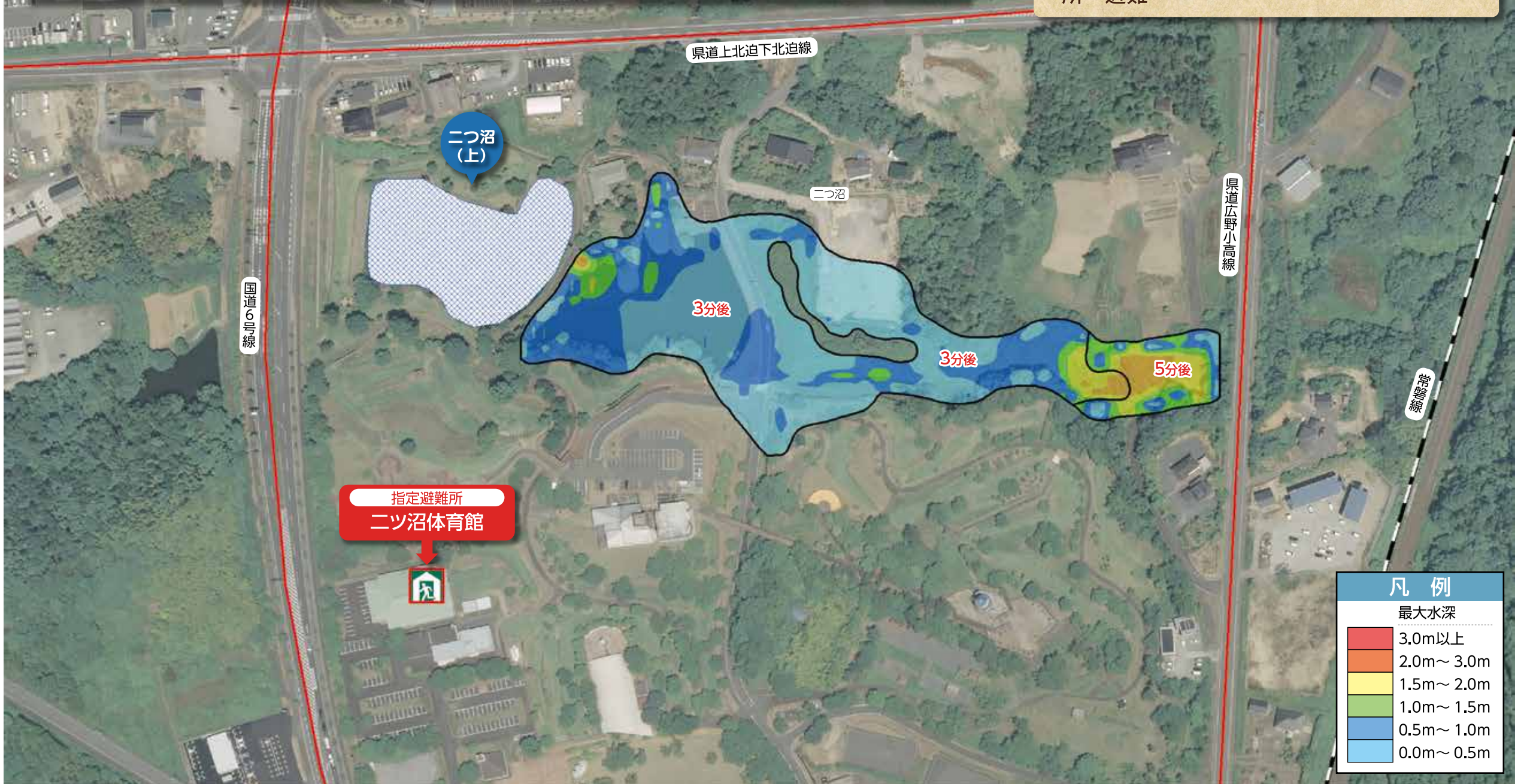
6 二つ沼(上)ハザードマップ

0 50 100 150 m 縮尺 1:2,000

二つ沼(上)ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。
 浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。
 よく目にするところに貼り、普段から家族や地域みなさんと話し合いましょう。

！ いざというときは

- 避難は可能な限り動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- 必ず徒歩で！足下に注意して避難
- 速やかに高台へ
- 建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難



避難行動ガイド

ハザードマップ作成の目的

二つ沼(上)ハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために最悪の状況を想定した浸水予測を行いました。住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的としています。

ハザードマップの作成条件

現在起こりうる最大の危機を想定しました。二つ沼(上)が満水の状態で、貯水量の全量5.0千トンが下流域に流れ出す場合を想定しました。



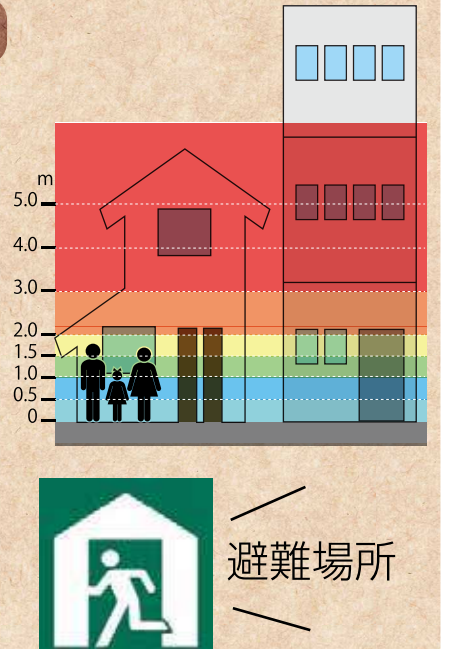
そうってからでは遅い！早めの避難

浸水が始まってから行動したのでは、手遅れになる場合があります。あらかじめ、このハザードマップで水がせまりくる状況を学び、万が一の事態が発生した場合の早めの判断、速やかな行動につなげてください。

地震のあとの災害シナリオ						
時間	発生前	数秒~1分	1~3分後	5~10分後	約30分後~50分後	到着くまで
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報 (数秒前)	発生	地震速報 防災無線	被害の情報収集		
被害	二つ沼地内に水が到達					
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る。揺れがおさまったら、安全なところへ避難	安全な場所へ避難	避難所などで待機し町の指示を待つ	

ハザードマップに載せる情報

- ①場所ごとの浸水する深さ**
場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。
- ②到達時間**
ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。
- ③避難場所**
避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、指定された避難場所によらず、近くの高台へ避難してください。
- ④いざというときの心構え**
いざというときの避難に備えて、日常から心がけておく事柄を記載しました。



地図を見るうえでのポイント

- 地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう(浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。)
- 災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- 地図上にある災害シナリオを参考に、災害の発生から避難完了までを考えてみましょう。
- 地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所(地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ)や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。

緊急連絡先

広野町役場

TEL.0240-27-2111

双葉警察署

TEL.0240-22-2121

双葉地方広域市町村圏組合消防本部

TEL.0240-25-8523

双葉警察署広野駐在所

TEL.0240-27-3225

7 二つ沼(下)ハザードマップ

0 50 100 150 m 縮尺 1:2,000

二つ沼(下)ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。

浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。

よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。

！いざというときは

- ・避難は可能な限り動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- ・必ず徒歩で！足下に注意して避難
- ・速やかに高台へ
- ・建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難



凡例	
最大水深	
3.0m以上	赤
2.0m～3.0m	オレンジ
1.5m～2.0m	黄
1.0m～1.5m	緑
0.5m～1.0m	青
0.0m～0.5m	白

避難行動ガイド

ハザードマップ作成の目的

二つ沼(下)ハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために最悪の状況を想定した浸水予測を行いました。住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的としています。

ハザードマップの作成条件

現在起こりうる最大の危機を想定しました。二つ沼(下)が満水の状態、貯水量の全量6.5千トンが下流域に流れ出す場合を想定しました。



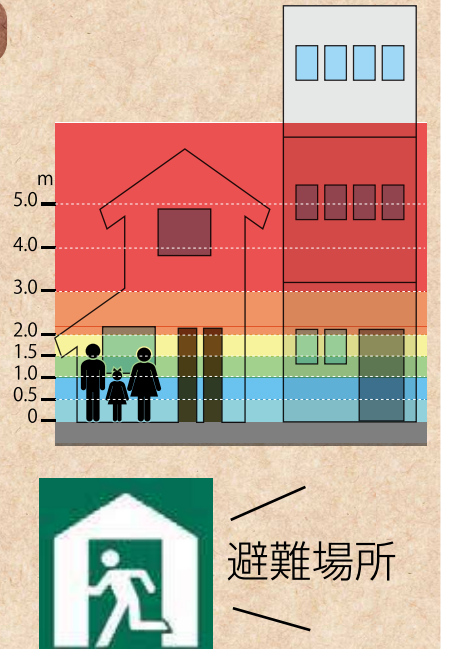
そうってからでは遅い！早めの避難

浸水が始まってから行動したのでは、手遅れになる場合があります。あらかじめ、このハザードマップで水がせまりくる状況を学び、万が一の事態が発生した場合の早めの判断、速やかな行動につなげてください。

地震のあとの災害シナリオ						
時間	発生前	数秒～1分	1～3分後	5～10分後	約30分後～50分後	到着くまで
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報 (数秒前)	発生	地震速報 防災無線		被害の情報収集	
被害		二つ沼地内に水が到達				
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る。揺れがおさまったら、安全なところへ避難	安全な場所へ避難	避難所などで待機し町の指示を待つ	

ハザードマップに載せる情報

- ①場所ごとの浸水する深さ**
場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。
- ②到達時間**
ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。
- ③避難場所**
避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、指定された避難場所によらず、近くの高台へ避難してください。
- ④いざというときの心構え**
いざというときの避難に備えて、日常から心がけておく事柄を記載しました。



地図を見るうえでのポイント

- ・地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう(浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。)
- ・災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- ・地図上にある災害シナリオを参考に、災害の発生から避難完了までを考えてみましょう。
- ・地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所(地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ)や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。

緊急
連絡先

広野町役場

TEL.0240-27-2111

双葉警察署

TEL.0240-22-2121

双葉地方広域市町村圏組合消防本部

TEL.0240-25-8523

双葉警察署広野駐在所

TEL.0240-27-3225

8 岩作ハザードマップ

0 50 100 150 200 m 縮尺 1:2,500

岩作ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。

浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。

よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。



！いざというときは

- ・避難は可能な限り動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- ・必ず徒歩で！足下に注意して避難
- ・速やかに高台へ
- ・建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難

避難行動ガイド

ハザードマップ作成の目的

岩作ハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために最悪の状況を想定した浸水予測を行いました。住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的としています。

ハザードマップの作成条件

現在起こりうる最大の危機を想定しました。岩作が満水の状態で、貯水量の**全量1.5千トン**が下流域に流れ出場合を想定しました。



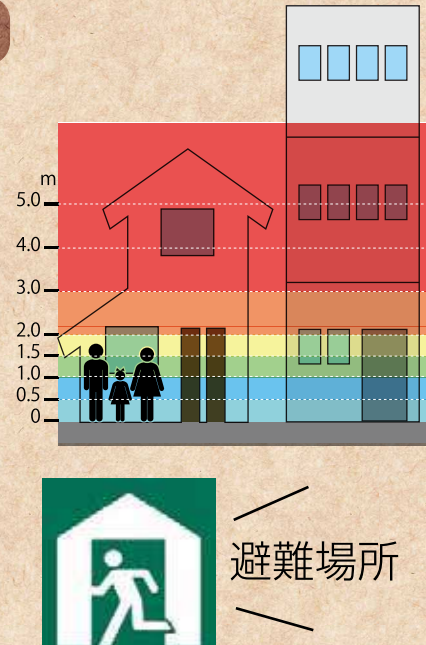
そうってからでは遅い！早めの避難

浸水が始まってから行動したのでは、手遅れになる場合があります。あらかじめ、このハザードマップで水がせまりくる状況を学び、万が一の事態が発生した場合の早めの判断、速やかな行動につなげてください。

地震のあとの災害シナリオ						
時間	発生前	数秒～1分	1～3分後	5～10分後	約30分後～50分後	到着くまで
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報 (数秒前)	発生	地震速報 防災無線		被害の情報収集	
被害		岩作地内に水が到達				
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る。揺れがおさまったら、安全なところへ避難	安全な場所へ避難	避難所などで待機し町の指示を待つ	

ハザードマップに載せる情報

- ①場所ごとの浸水する深さ**
場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。
- ②到達時間**
ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。
- ③避難場所**
避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、指定された避難場所によらず、近くの高台へ避難してください。
- ④いざというときの心構え**
いざというときの避難に備えて、日常から心がけておく事柄を記載しました。



地図を見るうえでのポイント

- ・地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう(浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。)
- ・災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- ・地図上にある災害シナリオを参考に、災害の発生から避難完了までを考えてみましょう。
- ・地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所(地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ)や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。

緊急
連絡先

広野町役場

TEL.0240-27-2111

双葉警察署

TEL.0240-22-2121

双葉地方広域市町村圏組合消防本部

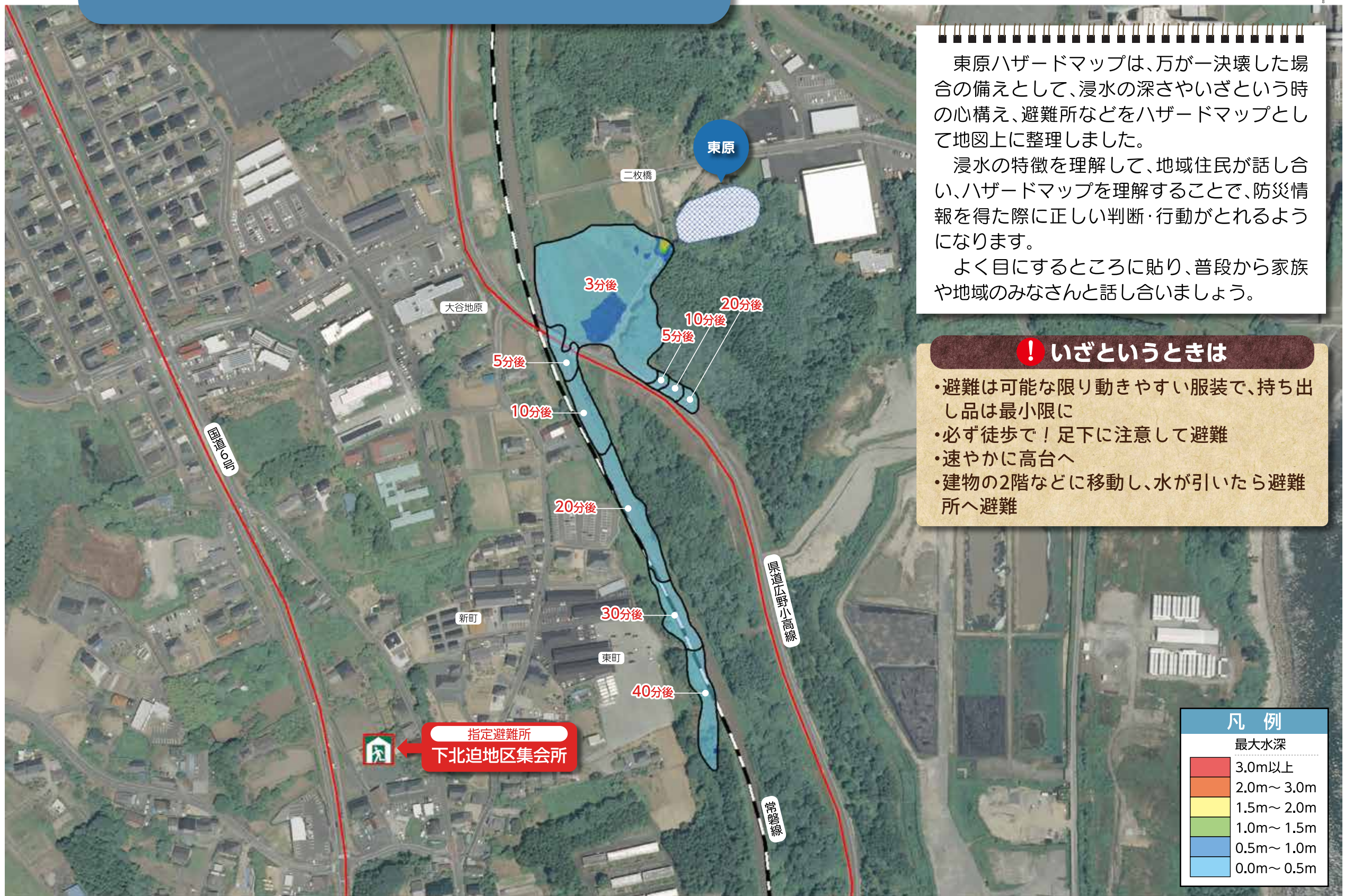
TEL.0240-25-8523

双葉警察署広野駐在所

TEL.0240-27-3225

東原ハザードマップ

0 50 100 150 200 m 縮尺 1:3,000



東原ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。

浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。

よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。

！ いざというときは

- 避難は可能な限り動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- 必ず徒歩で！ 足下に注意して避難
- 速やかに高台へ
- 建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難

凡例	
最大水深	
3.0m以上	赤
2.0m～3.0m	オレンジ
1.5m～2.0m	黄
1.0m～1.5m	緑
0.5m～1.0m	青
0.0m～0.5m	水色

避難行動ガイド

ハザードマップ作成の目的

東原ハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために最悪の状況を想定した浸水予測を行いました。住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的としています。

ハザードマップの作成条件

現在起こりうる最大の危機を想定しました。東原が満水の状態で、貯水量の**全量1.0千トン**が下流域に流れ出す場合を想定しました。

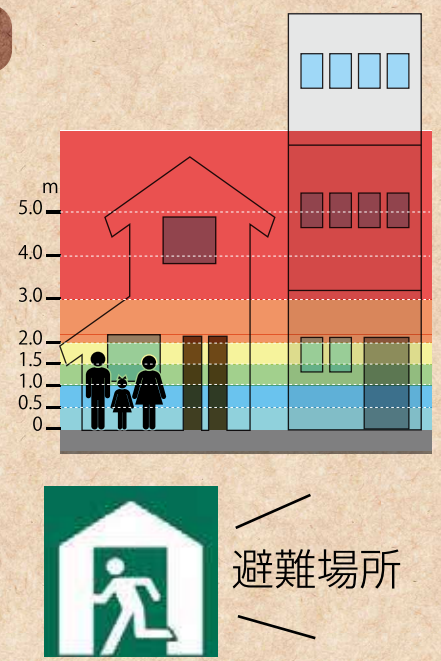


そうってからでは遅い！ 早めの避難

浸水が始まってから行動したのでは、手遅れになる場合があります。あらかじめ、このハザードマップで水がせまりくる状況を学び、万が一の事態が発生した場合の早めの判断、速やかな行動につなげてください。

ハザードマップに載せる情報

- ① 場所ごとの浸水する深さ**
場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。
- ② 到達時間**
ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。
- ③ 避難場所**
避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、指定された避難場所によらず、近くの高台へ避難してください。
- ④ いざというときの心構え**
いざというときの避難に備えて、日常から心がけておく事柄を記載しました。



地図を見るうえでのポイント

- 地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう(浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。)
- 災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- 地図上にある災害シナリオを参考に、災害の発生から避難完了までを考えてみましょう。
- 地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所(地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ)や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。

地震のあとの災害シナリオ						
時間	発生前	数秒～1分	1～3分後	5～10分後	約30分後～50分後	落ち着くまで
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報 (数秒前)	発生	地震速報 防災無線		被害の情報収集	
被害	東町・大谷地原地内に水が到達					
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る。揺れがおさまったら、安全なところへ避難	安全な場所へ避難	避難所などで待機し町の指示を待つ	

緊急連絡先	広野町役場	TEL.0240-27-2111	双葉警察署	TEL.0240-22-2121
	双葉地方広域市町村圏組合消防本部	TEL.0240-25-8523	双葉警察署広野駐在所	TEL.0240-27-3225

10 小松ハザードマップ

0 100 200 300 400 m 縮尺 1:5,500



！いざというときは

- 避難は可能な限り動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- 必ず徒歩で！足下に注意して避難
- 速やかに高台へ
- 建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難

小松ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。

浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。

よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合しましょう。

凡例	
最大水深	
3.0m以上	赤
2.0m～3.0m	オレンジ
1.5m～2.0m	黄
1.0m～1.5m	緑
0.5m～1.0m	水色
0.0m～0.5m	青

避難行動ガイド

ハザードマップ作成の目的

小松ハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために最悪の状況を想定した浸水予測を行いました。住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的としています。

ハザードマップの作成条件

現在起こりうる最大の危機を想定しました。小松が満水の状態で、貯水量の**全量2.3千トン**が下流域に流れ出す場合を想定しました。



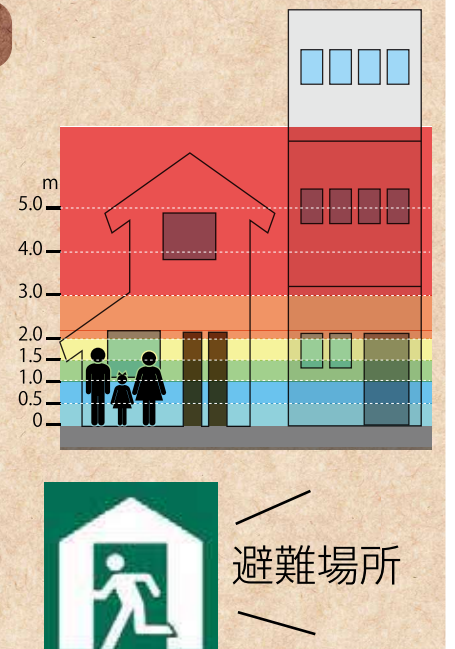
そうってからでは遅い！早めの避難

浸水が始まってから行動したのでは、手遅れになる場合があります。あらかじめ、このハザードマップで水がせまりくる状況を学び、万が一の事態が発生した場合の早めの判断、速やかな行動につなげてください。

地震のあとの災害シナリオ						
時間	発生前	数秒～1分	1～3分後	5～10分後	約30分後～50分後	落ち着くまで
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報 (数秒前)	発生	地震速報 防災無線		被害の情報収集	
被害		小松地内に水が到達				
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る。揺れがおさまったら、安全なところへ避難	安全な場所へ避難	避難所などで待機し町の指示を待つ	

ハザードマップに載せる情報

- ①場所ごとの浸水する深さ**
場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。
- ②到達時間**
ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。
- ③避難場所**
避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、指定された避難場所によらず、近くの高台へ避難してください。
- ④いざというときの心構え**
いざというときの避難に備えて、日常から心がけておく事柄を記載しました。



地図を見るうえでのポイント

- 地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう(浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。)
- 災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- 地図上にある災害シナリオを参考に、災害の発生から避難完了までを考えてみましょう。
- 地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所(地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ)や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。

緊急連絡先

広野町役場

TEL.0240-27-2111

双葉警察署

TEL.0240-22-2121

双葉地方広域市町村圏組合消防本部

TEL.0240-25-8523

双葉警察署広野駐在所

TEL.0240-27-3225

11 二本柵ハザードマップ

0 100 200m 縮尺 1:3,000



！いざというときは

- 避難は可能な限り動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- 必ず徒歩で！足下に注意して避難
- 速やかに高台へ
- 建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難

二本柵ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。

浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。

よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合しましょう。

避難行動ガイド

ハザードマップ作成の目的

二本柵ハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために最悪の状況を想定した浸水予測を行いました。住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的としています。

ハザードマップの作成条件

現在起こりうる最大の危機を想定しました。二本柵が満水の状態で、貯水量の**全量2.0千トン**が下流域に流れ出す場合を想定しました。



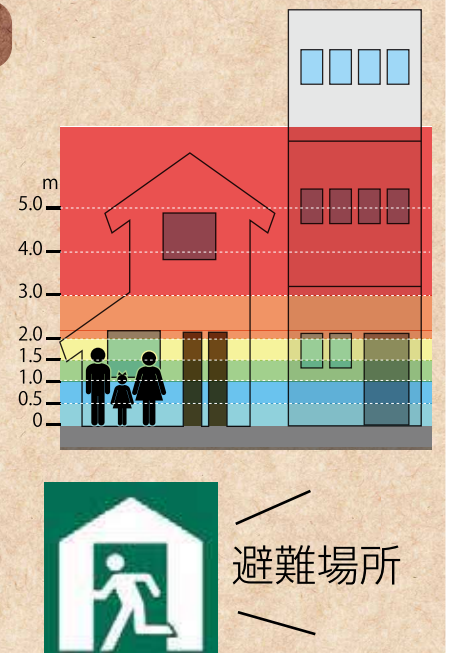
そうってからでは遅い！早めの避難

浸水が始まってから行動したのでは、手遅れになる場合があります。あらかじめ、このハザードマップで水がせまりくる状況を学び、万が一の事態が発生した場合の早めの判断、速やかな行動につなげてください。

地震のあとの災害シナリオ						
時間	発生前	数秒~1分	1~3分後	5~10分後	約30分後~50分後	到着くまで
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報 (数秒前)	発生	地震速報 防災無線	被害の情報収集		
被害	二本柵地内に水が到達					
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る。揺れがおさまったら、安全なところへ避難	安全な場所へ避難	避難所などで待機し町の指示を待つ	
	○決壊しない場合 緊急放流で水位低下・点検 ※地震直後に決壊しなくても、数日後に決壊することがあるため、監視を継続					

ハザードマップに載せる情報

- ①場所ごとの浸水する深さ**
場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。
- ②到達時間**
ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。
- ③避難場所**
避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、指定された避難場所によらず、近くの高台へ避難してください。
- ④いざというときの心構え**
いざというときの避難に備えて、日常から心がけておく事柄を記載しました。



地図を見るうえでのポイント

- 地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう(浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。)
- 災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- 地図上にある災害シナリオを参考に、災害の発生から避難完了までを考えてみましょう。
- 地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所(地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ)や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。

緊急
連絡先

広野町役場

TEL.0240-27-2111

双葉警察署

TEL.0240-22-2121

双葉地方広域市町村圏組合消防本部

TEL.0240-25-8523

双葉警察署広野駐在所

TEL.0240-27-3225

12 南山ハザードマップ

0 100 200 300 m 縮尺 1:4,000

南山ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。

浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。

よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合しましょう。



！いざというときは

- 避難は可能な限り動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- 必ず徒歩で！足下に注意して避難
- 速やかに高台へ
- 建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難

凡例	
最大水深	
3.0m以上	赤
2.0m～3.0m	オレンジ
1.5m～2.0m	黄
1.0m～1.5m	緑
0.5m～1.0m	水色
0.0m～0.5m	青

避難行動ガイド

ハザードマップ作成の目的

南山ハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために最悪の状況を想定した浸水予測を行いました。住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的としています。

ハザードマップの作成条件

現在起こりうる最大の危機を想定しました。南山が満水の状態で、貯水量の**全量1.0千トン**が下流域に流れ出す場合を想定しました。



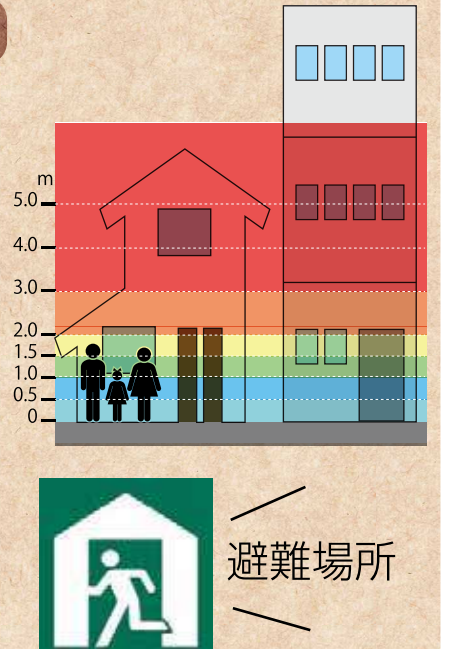
そうってからでは遅い！早めの避難

浸水が始まってから行動したのでは、手遅れになる場合があります。あらかじめ、このハザードマップで水がせまりくる状況を学び、万が一の事態が発生した場合の早めの判断、速やかな行動につなげてください。

地震のあとの災害シナリオ						
時間	発生前	数秒～1分	1～3分後	5～10分後	約30分後～50分後	到着くまで
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報 (数秒前)	発生	地震速報 防災無線		被害の情報収集	
被害		南山地内に水が到達				
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る。揺れがおさまったら、安全なところへ避難	安全な場所へ避難	避難所などで待機し町の指示を待つ	

ハザードマップに載せる情報

- ①場所ごとの浸水する深さ**
場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。
- ②到達時間**
ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。
- ③避難場所**
避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、指定された避難場所によらず、近くの高台へ避難してください。
- ④いざというときの心構え**
いざというときの避難に備えて、日常から心がけておく事柄を記載しました。



地図を見るうえでのポイント

- 地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう(浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。)
- 災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- 地図上にある災害シナリオを参考に、災害の発生から避難完了までを考えてみましょう。
- 地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所(地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ)や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。

緊急連絡先

広野町役場

TEL.0240-27-2111

双葉警察署

TEL.0240-22-2121

双葉地方広域市町村圏組合消防本部

TEL.0240-25-8523

双葉警察署広野駐在所

TEL.0240-27-3225

13 折返ハザードマップ

0 50 100m 縮尺 1:1,500

折返ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。

浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。

よく目にするところに貼り、普段から家族や地域みなさんと話し合いましょう。



！いざというときは

- 避難は可能な限り動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- 必ず徒歩で！足下に注意して避難
- 速やかに高台へ
- 建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難

凡例	
最大水深	
3.0m以上	赤
2.0m～3.0m	オレンジ
1.5m～2.0m	黄緑
1.0m～1.5m	緑
0.5m～1.0m	青
0.0m～0.5m	水色

避難行動ガイド

ハザードマップ作成の目的

折返ハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために最悪の状況を想定した浸水予測を行いました。住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的としています。

ハザードマップの作成条件

現在起こりうる最大の危機を想定しました。折返が満水の状態で、貯水量の**全量1.0千トン**が下流域に流れ出す場合を想定しました。



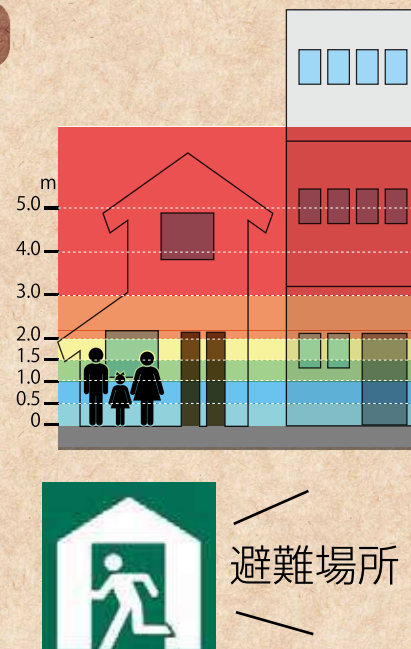
そうってからでは遅い！早めの避難

浸水が始まってから行動したのでは、手遅れになる場合があります。あらかじめ、このハザードマップで水がせまりくる状況を学び、万が一の事態が発生した場合の早めの判断、速やかな行動につなげてください。

地震のあとの災害シナリオ						
時間	発生前	数秒～1分	1～3分後	5～10分後	約30分後～50分後	到着くまで
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報 (数秒前)	発生	地震速報 防災無線		被害の情報収集	
被害		折返地内に水が到達				
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る。揺れがおさまったら、安全なところへ避難	安全な場所へ避難	避難所などで待機し町の指示を待つ	

ハザードマップに載せる情報

- 場所ごとの浸水する深さ**
場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。
- 到達時間**
ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。
- 避難場所**
避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、指定された避難場所によらず、近くの高台へ避難してください。
- いざというときの心構え**
いざというときの避難に備えて、日常から心がけておく事柄を記載しました。



地図を見るうえでのポイント

- 地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう(浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。)
- 災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- 地図上にある災害シナリオを参考に、災害の発生から避難完了までを考えてみましょう。
- 地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所(地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ)や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。

緊急連絡先

広野町役場

TEL.0240-27-2111

双葉警察署

TEL.0240-22-2121

双葉地方広域市町村圏組合消防本部

TEL.0240-25-8523

双葉警察署広野駐在所

TEL.0240-27-3225

14 関の上ハザードマップ

0 50m 縮尺 1:1,000

関の上ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。

浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。

よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。

！いざというときは

- ・避難は可能な限り動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- ・必ず徒歩で！足下に注意して避難
- ・速やかに高台へ
- ・建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難



避難行動ガイド

ハザードマップ作成の目的

関の上ハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために最悪の状況を想定した浸水予測を行いました。住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的としています。

ハザードマップの作成条件

現在起こりうる最大の危機を想定しました。関の上が満水の状態で、貯水量の**全量1.0千トン**が下流域に流れ出す場合を想定しました。



そうってからでは遅い！早めの避難

浸水が始まってから行動したのでは、手遅れになる場合があります。あらかじめ、このハザードマップで水がせまりくる状況を学び、万が一の事態が発生した場合の早めの判断、速やかな行動につなげてください。

地震のあとの災害シナリオ						
時間	発生前	数秒~1分	1~3分後	5~10分後	約30分後~50分後	到着くまで
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報 (数秒前)	発生	地震速報 防災無線		被害の情報収集	
被害	関の上地内に水が到達					
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る。揺れがおさまったら、安全なところへ避難	安全な場所へ避難	避難所などで待機し町の指示を待つ	

ハザードマップに載せる情報

- ①場所ごとの浸水する深さ**
場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。
- ②到達時間**
ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。
- ③避難場所**
避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、指定された避難場所によらず、近くの高台へ避難してください。
- ④いざというときの心構え**
いざというときの避難に備えて、日常から心がけておく事柄を記載しました。



地図を見るうえでのポイント

- ・地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう(浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。)
- ・災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- ・地図上にある災害シナリオを参考に、災害の発生から避難完了までを考えてみましょう。
- ・地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所(地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ)や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。

緊急
連絡先

広野町役場

TEL.0240-27-2111

双葉警察署

TEL.0240-22-2121

双葉地方広域市町村圏組合消防本部

TEL.0240-25-8523

双葉警察署広野駐在所

TEL.0240-27-3225

1 非常時持出品の準備とチェック

避難するときに必要となる物資をあらかじめ準備し、非常時にすぐ持ち出せるようリュックサックなどに入れておきましょう。また、自宅で避難生活を送ることに備え、非常用の食料や飲料水等を準備しましょう。足りないものがないか、下記の一覧にチェックをつけていきながら、自分にあった防災グッズを準備しておきましょう。

非常持ち出し品

避難時に持ち出すものです。リュックサックなどに入れておきましょう。

食料など 非常食・水 (水は1人あたり9ℓ程度)	感染症対策 マスク	日用品 ウェットティッシュ	衣類など 下着類	日用品 体拭きウェットティッシュ	日用品 トイレットペーパー
衣類など レインコート	日用品 下着	日用品 毛布・ブランケット	日用品 体温計	日用品 ウエットティッシュ	日用品 ラップ・紙皿・割りばし
防災用品 携帯ラジオ	日用品 懐中電灯	日用品 メガネ・コンタクトレンズ	日用品 タオル	日用品 歯ブラシ・液体歯磨き	日用品 防寒着
日用品 ホイッスル	日用品 ヘッドライト	日用品 生理用品	日用品 携帯トイレ	日用品 ポリ袋・レジ袋	日用品 携帯トイレ
日用品 乾電池	日用品 電池交換式バッテリー	医療品 常備薬	日用品 救急セット	貴重品 通帳・印鑑・カード	日用品 カセットコンロ カセットボンベ
					日用品 ライター
					日用品 乾電池
					日用品 電池交換式バッテリー

非常用備蓄品

災害発生後、復旧するまでの数日間を自宅で過ごすために、最低限必要なものです。1人3日分を目安に準備しておきましょう。

食料など 非常食・水 (水は1人あたり9ℓ程度)	衣類など 下着類	日用品 ウェットティッシュ	日用品 体拭きウェットティッシュ	日用品 トイレットペーパー
日用品 ラップ・紙皿・割りばし	日用品 防寒着	日用品 携帯トイレ	日用品 新聞紙 (保温材・敷物などに)	日用品 タオル
日用品 カセットコンロ カセットボンベ	日用品 毛布・ブランケット	日用品 ライター	日用品 乾電池	日用品 電池交換式バッテリー

家族構成にあわせた準備

災害時に必要となるものは、それぞれ違います。家族構成にあったものを準備しましょう。

妊婦・乳幼児のいる家庭	要介護者のいる家庭
妊婦 <input type="checkbox"/> マタニティマーク <input type="checkbox"/> 脱脂綿 <input type="checkbox"/> ガーゼ <input type="checkbox"/> さらし <input type="checkbox"/> T字帯 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 新生児用品(妊娠後期の場合) <input type="checkbox"/> 母子手帳	<input type="checkbox"/> 大人用紙おむつ <input type="checkbox"/> 携帯用杖 <input type="checkbox"/> 入れ歯の洗浄剤 <input type="checkbox"/> 補聴器 <input type="checkbox"/> 老眼鏡 <input type="checkbox"/> 障害者手帳 <input type="checkbox"/> おかゆなどの咀嚼しやすい非常食 <input type="checkbox"/> 年金手帳
乳幼児 <input type="checkbox"/> おむつ <input type="checkbox"/> おしりふき <input type="checkbox"/> 哺乳瓶 <input type="checkbox"/> 粉ミルク・液体ミルク <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> 離乳食(ベビーフード) <input type="checkbox"/> スプーン・紙皿・紙コップ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> だっこひも <input type="checkbox"/> おもちゃ・絵本 <input type="checkbox"/> おやつ <input type="checkbox"/> 母子手帳	ペットのいる家庭 <input type="checkbox"/> 飼い主の緊急連絡先・預け先などの情報 <input type="checkbox"/> 療法食・薬 <input type="checkbox"/> ペットフード(7日分以上) <input type="checkbox"/> キャリーバッグやケージ <input type="checkbox"/> 予備の首輪・リード(伸びないもの) <input type="checkbox"/> 排泄物の処理用具 <input type="checkbox"/> ペットシーツ <input type="checkbox"/> 食器 <input type="checkbox"/> タオル・ブラシ <input type="checkbox"/> おもちゃ

2 避難場所の確認

町は、災害時の避難先を定めています。ハザードマップなどで最寄りの避難先を確認してください。**安全な場所に親戚・知人宅がある場合は、緊急時の避難先としての受け入れについて日頃から相談しておきましょう。**

指定緊急避難場所



津波や洪水等の危険から、生命の安全を確保するため緊急に避難するところ。その場所にそのまま滞在することは想定されていません。

- 公園、学校のグラウンド、ビル等

指定避難所



災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在し、または自宅が被災した方が一時的に滞在するところ。

- 学校の体育館、公民館等

分散避難

避難所(避難場所)に行くことだけが避難ではありません。避難所の密集を避けるためにも、状況に応じた「分散避難」という取り組みも重要になってきています。

避難所(避難場所)への避難

- 自宅の水害・土砂災害の危険性が高い。
- 避難できる親戚・知人宅がない。

町が開設した避難所(避難場所)へ。



親戚・知人宅ホテルへの避難

- 親戚・知人宅やホテルの水害・土砂災害の危険性が低い。
- 避難できる親戚・知人宅がある。

親戚・知人宅やホテルに身を寄せる。

親戚・知人には日頃から相談しておきましょう。



在宅避難

- 自宅の水害・土砂災害の危険性が低い。
- 想定浸水深よりも高い階に避難できる。
- マンションなどの上層階に住んでいる。

自宅にとどまる。

(自宅内の安全な場所へ移動。)



車で避難する場合

水害・土砂災害の危険が迫っている場合、車での避難は危険です。「まだ大丈夫」と移動したのち、急に周辺の水位が上がり、車内から脱出できなくなってしまう可能性があります。



- やむを得ず、車中で避難する場合には、
- 雨がひどくなる前の明るい時間帯に、浸水しない安全な場所へ移動しましょう。
- トイレなどに困る場合がありますので、簡易トイレの準備も必要です。
- エコノミークラス症候群や熱中症に十分注意し、軽い運動やこまめな水分補給等を行きましょう。

3 避難行動判定フローの確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、ハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」で、自宅の災害リスクと、とるべき行動を確認しましょう。

経過	台風接近	雨・風が時間とともに強くなる、川の水位が上昇する	洪水・土砂災害の発生危険性が高まる	災害発生または切迫	
警戒レベル	警戒レベル1相当 台風予報	警戒レベル2相当 大雨注意報 洪水注意報	警戒レベル3 発令 高齢者等避難	警戒レベル4 発令 避難指示	警戒レベル5 発令 緊急安全確保
警戒レベル(2021年5月時点)	情報収集し、避難行動を確認しましょう。	避難に時間を要する方は、避難を開始してください。高齢の方、障がいのある方、乳幼児等とその支援者は避難を開始しましょう。	避難場所へ速やかに避難してください。避難場所への避難が危険な場合、「近隣の安全な場所」か「自宅内のより安全な場所」へ避難しましょう。	命を守るための最善の行動をとってください。すでに町内で災害が発生している状況です。現状より少しでも安全な場所に避難してください。	
あなたがとるべき避難行動は？	<p>スタート! ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。</p> <p>自宅がある場所に色が塗られていますか?</p> <p>いいえ → 色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばにお住まいの方は、町からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください。</p> <p>はい → 災害の危険があるので、原則として*自宅の外に避難が必要です。</p> <p>例外 → *浸水の可能性があっても、①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。②浸水する深さよりも高いところにいる。③水・食料等の備えが十分で、浸水しても水が引くまで我慢できる場合は、自宅にとどまり安全を確保することも可能です。*土砂災害の可能性があっても、十分堅固なマンションなどの上層階に住んでいる場合は、自宅にとどまり安全を確保することも可能です。</p> <p>ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか?</p> <p>はい → 安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか?</p> <p>はい → 警戒レベル3が出たら、安全な親戚・知人宅に避難しましょう。(日頃から相談しておきましょう)</p> <p>いいえ → 警戒レベル3が出たら、町が開設している指定避難所などに避難しましょう。</p> <p>いいえ → 安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか?</p> <p>はい → 警戒レベル4が出たら、安全な親戚・知人宅に避難しましょう。(日頃から相談しておきましょう)</p> <p>いいえ → 警戒レベル4が出たら、町が開設している指定避難所などに避難しましょう。</p>				
行動	情報収集し、避難行動を確認!	危険な場所から高齢者等は避難!	危険な場所から全員避難!!	命の危険 直ちに安全確保!!	

4 避難のタイミング

『警戒レベル4』で危険な場所から全員避難!

町などが、住民避難情報と併せて5段階の「警戒レベル」を発令します。災害時は、町や県からの情報(防災無線、自治体のホームページ、テレビなど)に注意しましょう。



警戒レベル5はすでに災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとってください。

※警戒レベル5緊急安全確保情報は、町が災害発生を把握できた場合に、可能な範囲で出される情報であり、必ず出される情報ではありません。

豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう。

早めに安全な場所へ避難するか、自宅の2階などで可能な限り安全を確保してください。

マイ避難シート

氏名 _____

ハザードマップで自宅の災害リスク(災害の危険性)を確認してください。

●自宅の浸水想定() ●土砂災害の危険性(なし・土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域)

	第1候補	第2候補	第3候補
いつ			
どこに			
どのように			
だれと	連絡先()	連絡先()	連絡先()
持ち物 3日分を持参する	食料など	日用品	防災用品

記入例

氏名 広野 太郎

ハザードマップで自宅の災害リスク(災害の危険性)を確認してください。

●自宅の浸水想定(3~5m) ●土砂災害の危険性(なし・土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域)

	第1候補	第2候補	第3候補
いつ	台風接近の前日まで	警戒レベル3	警戒レベル4(できるだけ第1,第2候補で避難する)
どこに	〇〇さん宅へ避難(親戚)	〇〇〇体育館	自宅の最上階(0階)
どのように	車で(0分)	徒歩で(0分)	階段で
だれと	家族〇人で 連絡先(123-456-7890)	家族〇人で(近所の〇〇さん) 連絡先(123-456-7890)	家族〇人で 連絡先(123-456-7890)
持ち物 3日分を持参する	食料など 水(500ml×〇本) 缶詰・レトルト(〇個) 栄養補助食品(〇箱)など	日用品 マスク、消毒液、体温計、 防寒着、着替え、タオル、雨具、 毛布、常備薬、お薬手帳	防災用品 携帯ラジオ、懐中電灯、 ヘッドライト、乾電池、 電池交換式バッテリー

5 新型コロナウイルスと避難

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、
**災害時に、危険な場所にいる人は
避難することが原則です。**

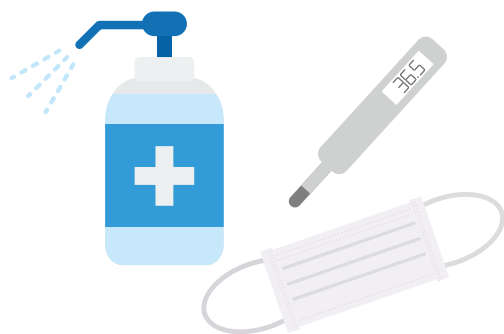


**安全な所にある親戚・知人宅への
避難も考えましょう。**

避難所が密集状態になることを
避けることにもつながります。



町が指定する
**避難所(避難場所)が
増設されている可能性**があります。
災害時には町ホームページなどで
確認してください。



**マスク・消毒液・体温計を
できるだけ自ら携行**してください。



避難とは「難」を「避」けること。
**自宅の水害・土砂災害の
危険性が低いなど、安全が確認
できる場合は、自宅の2階などに
とどまることも可能です。**

避難所での主な感染症対策

3密
(密閉・密集・密接)
を避けましょう

換気の悪い
密閉空間



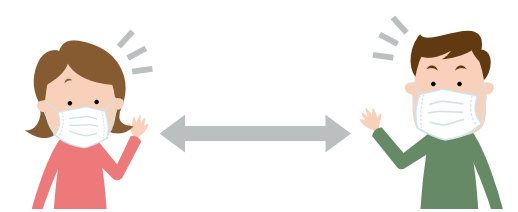
多数が集まる
密集場所



間近で会話をする
密接場面



常にマスクを着用し、
咳エチケットを守りましょう。



隣の人とは、1~2メートル
離れて過ごしましょう。



手すり、ドアノブ等の共用部分に触れた
後は、手洗い、消毒を徹底しましょう。



窓の開放など、定期的に
換気を行いましょう。



食器や洗面用具、タオルを他の人と
共用しないようにしましょう。



皆で協力して、身のまわりの整理整頓、
掃除に努めて、清潔を保ちましょう。